

埼玉県エコアップ認証事業所
新規認証申請書
記入要領
(建設業用)

令和4年4月
埼玉県
環境部温暖化対策課

1. 記入要領について

- 「埼玉県エコアップ認証制度実施要綱」第3条第1項に基づく 様式第1-1号「埼玉県エコアップ認証事業所 新規認証申請書」の作成例とその記入上の留意点を示します。
- 記入例は建設土木事業者の令和3年に報告する場合を例として示します。
本記入例はあくまで一例であり、取組、記述内容については自事業所の実状に即した内容を記載してください。
- 様式はWordのため、記述内容の多寡に合わせ、読みやすい配置にするため、ページレイアウトは変更をして構いません。（各項の順番・構成の変更はできません。）

2. 新規認証申請提出について

- 新規取得希望申出書（埼玉県エコアップ認証に関する手続等を定める要領 様式第1号）と新規認証申請書、巻末（この記入要領ではP16）に記載ある添付書類一式と共に正本1部提出します。（電子ファイルでの提出で可。電子ファイルの場合、任意様式の添付書類は必要部のみにする。）

「埼玉県エコアップ認証制度実施要綱」第3条第1項に基づく様式第1-1号「埼玉県エコアップ認証事業所 新規認証申請書」の作成例とその記入上の留意点を示します。

申出時は《案》を残す。
本申請時は《案》を消す。

様式第1-1号（第3条第1項関係）
埼玉県エコアップ認証事業所 新規認証申請書 《案》
令和3年〇月〇日

（あて先）
埼玉県知事

申請者 氏名~~は~~名称 株式会社 県庁土木建設工業
住所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 埼玉 守
電話番号 048-830-3044

埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第3条第1項の規定により、埼玉県エコアップ認証事業所の認証について、下記のとおり申請します。

1 事業活動の概要

ふりがな	けんちょうどぼくけんせつこうぎょう			
③ 事業所の名称	株式会社 県庁土木建設工業 本社 〇〇支店、〇〇営業所			
④ 事業所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1（本社）			
⑤	〇〇市新宿町1-1-1（〇〇支店） 〇〇市本町3-9-1（〇〇営業所）			
事業の内容	土木・建築一式請負 設計・施工・監理			
⑥ 日本標準産業分類（細分類）	名称	一般土木建築工事業	番号 0611	
⑦ 事業の規模	資本金（万円）	1億円	主要製品	各種建築物
	従業員人数（人）	68人	事業所の敷地面積（㎡）	1,500㎡
	（ ）		事業所の延床面積（㎡）	511.55㎡
⑧ 地球温暖化対策計画の提出状況	提出日： 令和 年 〇月 〇日			
⑨ 他のマネジメントシステム認証取得状況	<input type="checkbox"/> ISO14001 <input checked="" type="checkbox"/> エコアクション21 <input type="checkbox"/> エコステージ <input type="checkbox"/> KES <input type="checkbox"/> EES <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ISO 9001） <input type="checkbox"/> なし			

新規認証取得希望申出の際に提出する場合は、《案》をつけたままとします。あらたに本申請する際は《案》を消して提出してください。

※吹き出しテキストボックスを印刷したくない場合は、テキストボックスを消去（テキストボックスを選択し、” Delete”）する。もしくは、「ファイル」⇒「オプション」⇒「表示」⇒「印刷オプション」から、「Word で作成した描画オブジェクトを印刷する” の口のチェックをはずすと、テキストボックスが印刷されません。

- ① 「申請年月日」
 - ・ 窓口に提出する場合は提出日を、郵送する場合は、発送日を記入します。
- ② 「認証申請者」
 - ・ 事業者名、住所、代表者（代表者印は不要）、連絡先を記入します。
- ③ 「事業所の名称」
 - ・ エコアップ認証を申請する事業所の名称を記入します。なお、複数の事業所を対象とする場合は、認証範囲の事業所（支店、営業所等）をすべて記入してください。事業所一覧を添付します。
- ④ 「事業所の所在地」
 - ・ エコアップ認証を申請する事業所の所在地を記入します。なお、複数の事業所がある場合は、認証範囲の事業所（支店、営業所等）の所在地も記入してください。
- ⑤ 「事業の内容」
 - ・ エコアップ認証を申請する事業所の事業内容を記入します。
- ⑥ 「日本標準産業分類」
 - ・ エコアップ認証を申請する事業所における事業（「上記⑤」）について日本標準産業分類の細分類に従って事業名とその番号（4桁）を記入します。
 - ・ 複数の業種に属する事業を行っている場合は、その主たる事業を記入します。
- ⑦ 「事業の規模」
 - ・ 資本金、主要製品、従業員人数（パート、臨時職員等も含む）、事業所の敷地面積、延床面積、年間製品出荷額、年間生産量など、事業の規模が分かる事項を外部に公表できる範囲で記入します。
- ⑧ 「地球温暖化対策計画の提出状況」
 - ・ 埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、直近の地球温暖化対策計画書提出日を記入します。（計画書の写しの添付は不要です）
- ⑨ 「他のマネジメントシステムの認証取得状況」
 - ・ エコアップ認証を受けようとする事業所のマネジメントシステムの認証取得状況について該当するものに印を付けてください。（例示はエコアクション21とISO 9001を取得している場合）

2 環境方針

※（ISO14001の環境方針、地球温暖化対策計画の基本方針等対外的に公表しているものがあれば、その写しを添付すること。）

⑩ 【環境方針の制定時期：平成22年4月1日】（令和2年12月16日改訂）

1. 事業活動に係わる環境影響を認識し、汚染の予防に努める。2. 環境関連法規及びその他の要求事項を遵守する。3. エネルギー消費量、廃棄物排出量の削減に努める。4. 地球温暖化防止に努める。（詳細は、別添のとおり）

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック結果（別添「環境保全に関する取組チェックシート」の集計）

⑪

項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率	67%	80%	67%	67%	—
項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率	50%	38%	72%	55%	

(各項目の取組に関する情報・説明)

< 廃棄物 >

- ・最終産廃処分場を現地立ち会いし、最終処分状況を調査した。

< 大気・水質 >

- ・アイドリングストップ、エコドライブの周知徹底を図った。

< 化学物質 >

- ・使用塗料のSDSを入手し、作業員に周知させた。

< 節水・水 >

- ・水道栓に節水コマをつけた。来年度はさらに3カ所増設する予定。

< グリーン購入 >

- ・社員の作業着（リサイクル繊維使用）等エコマーク商品の物品を購入しているが、達成率が38%と低い。今後は、購入先リストを作成し充実させる。

< 環境教育 >

- ・県の産業廃棄物研修会に2名参加させた。

< その他 >

- ・令和2年に埼玉県SDGs宣言をおこなった。
- ・工業高校の生徒のインターンシップを受け入れた
- ・さいたま緑のトラスト基金に寄付した。

⑩ 「2 環境方針」

- 事業者が環境保全活動を行う上での基本的な理念、基本方針及び初版制定日を記入（改訂があれば改訂日を追記する）します。環境保全活動の具体的な取組を明示し、自らの事業活動に見合ったものとします。
公表している環境方針があれば、別紙で添付してください。

⑪ 「3 環境負荷の現状（1）環境保全の取組のチェック結果」

- 「環境保全に関する取組チェックシート」によるチェック結果を記入します。
- また、「取組に関する情報・説明」欄については、取組に関する説明などを記入します。例えば、表の項目を<タイトル>として、各項目の特色ある取組を具体的に記載するとか、また、達成率の低い原因や今後の改善策などを記入してください。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO₂ 排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

⑫

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	36.0	35.0	36.0	34.0
原単位 (床面積当たり)	t-CO ₂ /m ²	0.0692	0.0672	0.0692	0.0653
原単位の指標数	(m ²)	520.55	520.55	520.55	520.55

イ) 工場・現場系 CO₂ 排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	107.0	136.0	113.0	118.0
原単位 (生産量当たり)	t-CO ₂ /トン	0.1212	0.2610	0.1146	0.1093
原単位の指標数	(トン)	883	521	986	1080

ウ) 自動車燃料 CO₂ 排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	113.4	124.7	122.9	116.1
原単位 (自動車台数 当たり)	t-CO ₂ /台	3.3353	3.2816	3.2342	3.1378
原単位の指標数	(台)	34	38	38	37

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	256.4	295.7	271.9	268.1
原単位 (売上金額当たり)	t-CO ₂ /億円	6.7474	7.3925	6.6317	6.2349
原単位の指標数	(億円)	38	40	41	43

⑫ 「(2) 環境への負荷のチェック結果」

- ・ア) にはエコアップ認証を受けようとする主に事業所の建物からのCO₂排出量及び活動規模あたりのCO₂排出量(原単位)を直近の過去4年間分記入します。該当があれば、イ)には工場・現場系の生産や現場作業によるCO₂排出量、ウ)には道路を走行する自動車燃料に関するCO₂排出量、エ)ア～ウの合計値について、それぞれ過去4年間分のCO₂排出量を記入します。
なお、「CO₂排出量」の単位はトン(単位:t-CO₂)とし、小数点第2位以下を四捨五入して小数点第1位まで、「原単位」は小数点第5位以下を四捨五入して小数点第4位までの数値を記入します。
- ・この表のCO₂排出量は、県HPに掲載されている「エコアップ認証CO₂排出量換算シート」(Excel様式)を利用し算出します。その計算結果数値(小数点以下桁数も)をそのまま、報告書の表に転記することで簡便に作成することができます。
- ・ア)、イ)、ウ)、エ)のCO₂排出量の原単位及び原単位算出には、事業所の状況に照らして、それぞれにふさわしい「活動規模の指標」及びその数値を記入します。
- ・埼玉県への報告数値の年度くくりは4月～3月までの期間の集計値となります。

● (活動規模の指標の例) :

事業所の敷地面積、延床面積、売上金額、製品出荷額、就業時間、年間生産量、従業員数、自動車台数、総走行距離など。様式で予め用意した活動指標に、自事業所にふさわしい指標がない場合は、別途作成し、選択します。
※原単位とは、CO₂排出量を延床面積等活動規模の指標で除した値のこと。

※4年分の実績値がない場合はその理由を余白に記載して、県と協議してください。

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の過去3年間の実績

年度	CO2 排出量 (t-CO2)	前年比 増減量 (t-CO2)	前年比 増減率 (%)	CO2 原単位 (売上金額当 たり)(t-CO2/億円)	前年比増減量 原単位 (売上金額当たり) (t-CO2/億円)	前年比 増減率 (%)
29年度	256.4			6.7474		
30年度	295.7	△39.3	△15.3	7.3925	△0.6451	△9.6
1年度	271.9	△23.8	△8.0	6.6317	△0.7608	△10.3
2年度	268.1	△3.8	△1.4	6.2349	△0.3968	△6.0
平均増減率			△8.2			△8.6

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

- ⑭
- ・CO2排出量については、平成28年度に品質環境管理委員会を設置し、これまで事業所全体で省エネ活動を積極的に行い、順調に削減効果を上げている。
 - ・平成29年度は従業員数の増加(h28:56人、h29:64人)や建設現場の作業量増加、及び遠地化による走行距離増加の影響で排出量が増加したが、重機の更新及び燃費向上に努め翌年削減した。
 - ・空調の設定温度を冷房28℃、暖房20℃にし、使用時間も管理した。
 - ・全車両の給油量及び走行距離により1か月毎にCO2排出量及び燃費量を算出しアイドリングストップ、エコドライブを自覚させた。また、3か月・6か月平均等で燃費の悪い運転者には再教育した。
 - ・車両38台(リース30台、社有8台)のうち、社有車2台を低公害車(ハイブリッドカー)にし、1台廃車し、台数を削減した。(令和2年11月に購入)

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

- ⑮
- 廃棄物排出量を□□□トン削減した。(平成30年度△△△トン、R1年度☆☆☆トン、R2年度○○○トン)リサイクル率を65%から73%に向上した。
 - 合併処理浄化槽の年次水質検査(浄化槽法第11条法定検査結果)
 - 彩の国ロードサポート登録(清掃ボランティア6回/年実施)
 - 第14回環境セミナーに2名参加(令和1年10月14日、大宮ソニック)
 - 工事注文請書に環境配慮項目(資材の整理整頓、廃棄物の分別、近隣への騒音・振動・悪臭等の公害防止配慮)を記載し、関係者に協力要請。

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添・「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり(追加対策に関するコメント)

- ⑯
- ・階段・玄関ホールの照明器具に自動点滅センサーを導入
 - ・事務所全窓に断熱フィルムを施工

⑬ 「(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の過去3か年間の実績」

- この表の数値は県HPに掲載されている「エコアップ認証CO₂排出量換算シート」(Excel様式)を利用し算出します。そのシート7; B表の計算結果数値(小数点以下桁数も)をそのまま、報告書の表に転記することで簡便に作することができます。
- 「CO₂排出量」と「CO₂原単位」欄は、(2)の工)合計の欄の数値を示します。
- 「前年比増減量」は、各年度の前年度との増減量(差)を示します。
- 「前年比増減率」は、各年度の前年比との増減率を示します。
- 「平均増減率」は、3年間の「前年比増減率」の平均値を示します。

⑭ 「(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明」

- この欄には、CO₂排出量及び原単位についての増減に関する理由、その他増減に関する自己評価について記入します。
- 事業所における省エネルギー対策や新エネルギー導入などCO₂排出量又は原単位の削減に関するこれまでの取組や削減効果などについて記入することができます。
- 二酸化炭素排出削減のための個別対策の削減効果を評価する方法は、様々な考え方があります。本制度では、対策前排出量と対策後の排出量の差を求めることにより算定することとします。しかし、個別対策による効果が見込まれる期間に影響を受ける電源が想定できる場合には、当該電源の排出係数を電気の削減量に乗じて算定する方法なども考えられます。この場合には、その算定方法や効果を記載することができます。

⑮ 「(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明」

- 「二酸化炭素排出量」以外の項目で、事業活動で環境に重大な影響を与える項目の実績を記載します。(廃棄物排出量、大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音・振動、化学物質などの実績)
- 廃棄物排出量については、「廃棄物等排出量実績(自己排出分)」を用いて算定し、必ず記入してください。
- 実績は、過去数年のデータを記載して、その増減を明らかにして、その増減の理由や原因などの情報や削減に関する取組などを記入するようお願いします。

⑯ 「(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況」

- 該当する業種の「二酸化炭素削減対策等チェックシート」を自己チェックして、添付します。シートのチェック範囲は認証範囲だけでなく、事業所の関わる全事業範囲が対象となります。
- 「追加対策」の「個別追加対策」として、事業者が任意記載した対策内容については、その内容に関する情報や説明を記入してください。

4 環境への負荷低減の目標

(1) 二酸化炭素の削減目標 (基準値: H30~R2 年度 3 年間平均 278.6 (t-CO₂))

⑰

年度	目標排出量 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	目標 原単位 (売上金額当たり t-CO ₂ /億円)	増減量 (売上金額積た り) (t-CO ₂ /億円)	増減率 (%)
基準値	278.6			6.7530		
R3 年度	260.5	△18.1	△6.5	5.7889	△0.9641	△14.3
R4 年度	255.5	△23.1	△8.3	5.6778	△1.0752	△15.9
R5 年度	250.0	△28.6	△10.3	5.5556	△1.1974	△17.7
平均 増減率			△8.4			△16.0

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

⑱

- これまでの削減対策 (空調の温度設定、クールビズ、ウォームビズの取組) と今後の省エネ対策 (照明器具の更新、自動車の入れ替えなど) を積極的に取り組むことにより、令和3年度から5年度までの3年間で基準値 (平成30年度~令和2年度の平均値 278.6 t-CO₂) の△8.4%を削減する目標 (令和5年度 250.0 t-CO₂) を設定した。

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報・説明

(廃棄物等に関すること)

⑲

- 廃棄物の発生抑制を図り、前年度排出量より1%以上の削減を目標にする。
廃棄物の分別を徹底しリサイクル率73%から85%以上の達成を目標にし、資源循環に努める。
- 埼玉県における県有施設・樹木の消毒等に関する取組方針に準じ、定期的な農薬散布を行わず、チャドクガ等人に被害を及ぼす毛虫が発生した時のみ必要最低限の農薬を散布する。
引き続き手作業で除草し、除草剤を使用しない対応を継続する。
- SDGs について教育をおこない、社員全員に事業の関りとの理解度を確認し、意識を高めた。

⑰ 「4 環境への負荷低減の目標 (1) 二酸化炭素の削減目標」

- この表の数値は、県 HP に掲載されている「エコアップ認証 CO₂排出量換算シート」(Excel 様式) を利用し算出します。そのシート 8 ; D 表の計算結果数値 (小数点以下桁数も) をそのまま、報告書の表に転記することで簡便に作成することができます。
- 「目標排出量」と「目標原単位」は、申出日の属する年度を含め今後の 3 年間分の削減目標値を記入します。
- 「基準値」は、認証申請日前の過去 3 年間の二酸化炭素排出量又は二酸化炭素排出原単位の平均値です。なお、過去 3 年分の実績値がない場合などは県と協議の上定めることとします。
- 「増減量」は、各年度の目標値と基準値との増減量 (差) です。
- 「増減率」は、各年度の目標値と基準値との増減率です。
- 「平均増減率」は、3 年間の「増減率」の (単純) 平均値です。

⑱ 「(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明」

- 二酸化炭素排出量及び排出原単位の削減目標の設定に関する考え方や目標の内訳などを記入します。

⑲ 「(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報と説明」

- 二酸化炭素排出量以外の項目で事業活動に影響を与える項目の低減目標を記入します。
- 上記の低減目標の設定に関する考え方や目標の内訳などを記載します。
(廃棄物排出量、大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音・振動、化学物質など)
なお、廃棄物排出量の削減目標を必ず設定し記入してください。

5 目標達成に向けた具体的な取組

(1) 二酸化炭素削減の取組

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

20

- ①空調温度の適正化（冷房28度、暖房20度）に努める。
- ②空調の運転時間を10～19時までとする。
- ③空調機のフィルター清掃（毎月）を行い機器性能の維持に努める。
- ④昼休み消灯や部分点灯を徹底する。
- ⑤エレベーターの利用は荷物の運搬時に限定する。
また、帰階方式から乗り捨て方式に運転制御を変更する。（基準階に戻さない）
- ⑥退社時はFAX以外のOA機器電源をOFFにし、節電を徹底する。
- ⑦2階事務所の照明をLED照明器具に取り替える。
（全88台中、令和3年度は64台、4年度は残り）
- ⑧車両37台（リース30台、社有7台）のうち、リース車20台を低燃費車に借り換える。（令和3、4年度に計画）また、社有車1台ハイブリッドカーに検討中。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組

(廃棄物等に関すること)

21

- ①4分割（Nアップ機能）で印刷紙、コピー用紙の使用量を削減する。
- ②シュレッダー紙ゴミを熔解リサイクル処理への転換を図る
- ③プレビューで確認しミスコピーを減らす。両面コピーや裏紙使用を徹底し、廃棄物の削減を図る。
- ④改正された環境法令について教育し、知識を高める。（理解度目標100%）
- ⑤委託した産業廃棄物の最終処分先を、全箇所現地立ち合いする。
- ⑥水筒を持参しマイボトル運動に協力する。

6 取組の実施体制

(1) 地球温暖化対策推進者の役職・氏名（非公表）

役職	氏名
総務部長	埼玉 次郎

22

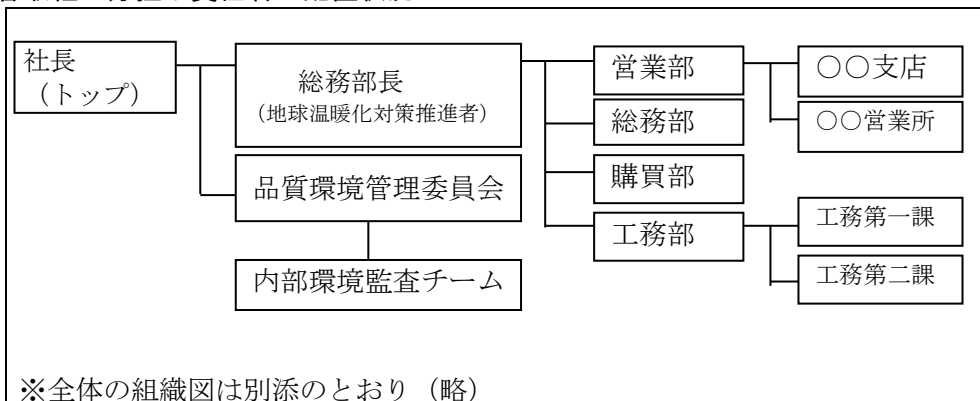
(2) 担当組織名

総務部

23

(3) 各取組の分担や責任者の配置状況

24



⑳ 「5 目標達成に向けた具体的な取組（1）二酸化炭素削減の取組」

- ・「4 環境への負荷低減の目標（1）二酸化炭素削減の目標」で設定した目標を達成するため、必要な取組の方法や内容を具体的に記入します。

例）室温の適正管理（冷房時：28℃以上、暖房時：20℃以下）

空調の運転時間の設定、短縮

空調の風量の適正管理（微風、弱風モード）

昼休み消灯、スイッチの細分化による部分点灯

個々の照明器具にヒモを取り付け個別点灯

高効率空著王やLED照明設備等高効率照明器具の導入

㉑ 「（2）その他環境に重大な影響を与える項目の取組」

- ・「4 環境への負荷低減の目標（3）その他環境に重大な影響を与える項目の目標」で設定した目標を達成するため、必要な取組の方法や内容を具体的に記入します。

例）PPC用紙（印刷・情報用紙）を古紙70%以上配合されたFSC認証（森林認証制度）のものを購入する。

グリーン購入法第5条を踏まえ環境省総合環境政策局HPの環境ラベル等データベースを活用し環境負荷の少ない製品を優先して購入するためのリストを作成し、グリーン購入率を向上させる。

複写機を買い替える時は、国際エネルギースタープログラム等の環境ラベル表示がある消費電力削減型を選定する。

全社員にeco検定の過去問題にチャレンジさせ環境意識を高める。

全社員でエコライフDAY（デイ）埼玉に参加し集計結果を報告した。冬のキャンペーンも参加し意識を高める。

㉒ 「6 取組の実施体制（1）地球温暖化対策推進者の役職・氏名」

- ・地球温暖化対策計画における地球温暖化対策推進者の役職と氏名を記入します。

㉓ 「（2）担当組織名」

- ・エコアップ認証EMSの取組を担当する組織の名称を記入します。

㉔ 「（3）各取組の分担や責任者の配置状況」

- ・事業所のエコアップ認証EMSの取組の分担と環境管理責任者（地球温暖化対策推進者）の配置状況を記載します。会社全体の組織図も添付します。

- ・ISO14001等他のマネジメントシステムを認証取得済みで、ISO14001の組織図を添付する場合は、地球温暖化推進者の位置づけが分かるようにします。

7 取組の運用状況

・目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

25

- ・取組のシステムの全社的な運用開始日：平成22年6月1日
- ・内部監査実施（令和2年10月20日）目標達成プログラムについて、軽微な指摘が1件あった。
- ・地球温暖化対策推進者を中心にして、各責任者が目標達成と取組の進捗状況を毎月、定期的に確認・点検を行っている。

8 評価・見直し

・代表者等による全体の評価・見直し概況

（マネジメントレビューの記録の写しを添付すること）

26

- 【代表者による全体の評価と見直し：令和2年12月2日】
- ・代表取締役が全体の評価を行い、「環境方針」の見直しを行った。環境方針に汚染の予防、省エネ、廃棄物削減のほかに『地球温暖化防止に努める』を追加した。
 - ・廃棄物のリサイクル率が目標の70%を達成（73%）したため、85%に修正した。

9 担当者・連絡先

27

担当者	(所属) 工務部	(氏名) 埼玉 太郎
連絡先	(電話) 048-830-3044	(FAX) 048-830-4777 (電子メール) A3030@pref.saitama.lg.jp

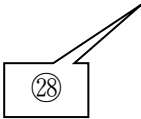
- ⑳ 「7 取組の運用状況・目標達成状況と取組実施状況の確認・点検状況」
- ・目標の達成状況と取組の実施状況についての確認・点検概況を記入します。
 - ・直近の内部監査日を記入し、その概況を記載してください。
- ㉑ 「8 評価・見直し・代表者等による全体の評価・見直し状況」
- ・代表者等による全体の評価・見直しの概況を記入します。なお、実施したマネジメントレビューの写しを添付してください。
 - ・直近のマネジメントレビューの実施日とその概況を記載してください。
- ㉒ 「9 担当者・連絡先」
- ・「認証取得希望申出書」提出後、県から記載内容の問い合わせや現地事前審査などの連絡をさせていただきますので、担当者の所属、氏名と連絡先の電話番号、FAX、電子メールを記入してください。

提出書類について

(このページの提出は不要。提出書類確認用チェックシートとして利用ください)

項 目	提 出 書 類 (1 部)
1 エコアップ新規認証申請	①新規取得希望申出書 ※ (埼玉県エコアップ認証に関する手続等を定める要領 様式第1号) ②本申請書一式 ※ ・追加事項がある場合、逐次ページ追加する
2 エコアップ認証EMS	①環境保全に関する取組チェックシート※ ②燃料等使用量の単位換算(建物系)、算定報告様式(建物系)※ ③燃料等使用量の単位換算(工場・現場)、算定報告様式(工場・現場)・・・対象があれば※ ④自動車燃料に関するCO2排出量(自動車燃料チェックシート)※ ⑤廃棄物等排出量実績(最低2か年分以上)※ ⑥エコアップ認証にかかる目標達成のための具体的な取組(計画)と実施状況の確認・評価の記録 ※ (目標と削減達成における年間の取組活動状況がわかる書類 : ISOなどのEMP、事業所独自の目標達成アクションプランや毎月のエネルギー実績表やグラフなど) ⑦会社全体の組織図(工場・支社・支店・営業所等が確認できるもの) ※ ⑧事業所一覧(複数の事業所がある場合) ⑨内部環境監査の記録 ※ ⑩マネジメントレビューの記録 ※ ⑪自動車の給油量・燃費管理表(任意) ⑫法令及びその他要求事項遵守評価表 ※ ⑬その他必要と認める書類 <注1> ①、②、③、④、⑤は県の指定様式。⑥以降の様式は任意の写し <注2> ②、③、④は同一の「エコアップ認証用CO2排出量換算シート」からの県の様式シート 「エコアップ認証CO2排出量換算シート」#6、#7、#8シートも提出する。
3 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート ※ ②その他必要と認める書類
4 欠格要件	①欠格要件申告書(別紙) ※ ②その他必要と認める書類

※提出必要書類



⑳ 提出する「関係書類」

○申請書類

- 1 ① 認証取得希望申出書（埼玉県エコアップ認証に関する手続等を定める要領 様式第 1 号）
- 1 ② 新規認証申請書（埼玉県エコアップ認証実施要綱 様式第 1 - 1 号）

○添付書類

- 2 ① 新規認証申請に当たっての「環境保全に関する取組チェックシート」
- 2 ②～④ 県 HP に掲載されている「エコアップ認証 CO₂排出量換算シート」（Excel 様式）より、② 燃料等使用量の単位換算（建物系）…# 1, 2 シート、③ 燃料等使用量の単位換算（工場・現場）…# 4, 5 シート、④ 自動車燃料に関する CO₂ 排出量（自動車燃料チェックシート）…# 3 シートのうち該当のあるものを提出します。
併せて、# 6、7、8 シートを添付します。また、必要のある場合はその他シートも追加して添付します。
- 2 ⑤ 自己排出分の「廃棄物等排出量実績」 事業所からの事業系一般廃棄物は少量でも、計量される重量の正確性の担保が必要です。事業所から排出される産業廃棄物がある場合も記載します。
※廃棄物実績については最低直近 2 年分の実績が必要です。
- 2 ⑥ 事業所での CO₂ 排出削減など環境目標が示された目標・計画表や環境目標達成のための活動状況がわかる進捗管理表（EMP、アクションプラン）などを添付します。（様式不問）
- 2 ⑦⑧ 地球温暖化推進者の組織上の位置づけのわかる会社全体の組織図、他の事業所がわかる一覧など（様式不問）
- 2 ⑨ 直近の内部監査の記録の写しを提出します。（様式不問）
- 2 ⑩ 代表者による見直しが確認できるマネジメントレビューの記録の写しを提出します。（様式不問）
- 2 ⑪ 自動車を管理している帳票の例や、車両一覧での実績状況が把握できる記録等があれば、その写しを提出します。（様式不問）
- 2 ⑫ 事業所に関連する法令やその遵守状況がわかる記録の写しを提出します。（様式不問）
- 2 ⑬ その他の必要と認める書類。例：環境方針など
- 3 ① 二酸化炭素削減対策等関係では、「二酸化炭素削減対策等チェックシート」を提出します。
- 4 ① 欠格要件関係では、「欠格要件申告書」（別紙）などを提出します。

別紙

埼玉県エコアップ認証事業所・欠格要件申告書

29

令和〇〇年〇月〇日

(あて先)
埼玉県知事

私は、埼玉県エコアップ認証事業所の認証申請するに当たり、環境関係法令又は条例に係る規定のほか事業活動に関する法令若しくは条例、又は公租公課に関する法令若しくは条例に係る規定に違反し、行政処分又は刑罰を受けていないことを申告します。

また、埼玉県暴力団排除条例第2条で定める暴力団、同条で定める暴力団員が事業主又は役員となっている団体、又は同条例第3条第2項で定める暴力団関係者でないことを申告します。

申請者 氏名又は名称 株式会社 県庁土木建設工業
住 所 〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1
法人の場合は代表者氏名 代表取締役 埼玉 守

⑳ 「埼玉県エコアップ認証事業所・欠格要件申告書」

認証事業所 新規認証申請に当たっては、環境関連のみならず、自らの事業活動に係るもの、及び公租公課に関する法令（条例や規則も含む）を遵守しており、行政処分又は刑罰を受けていない旨を申告します。（代表者印は不要）